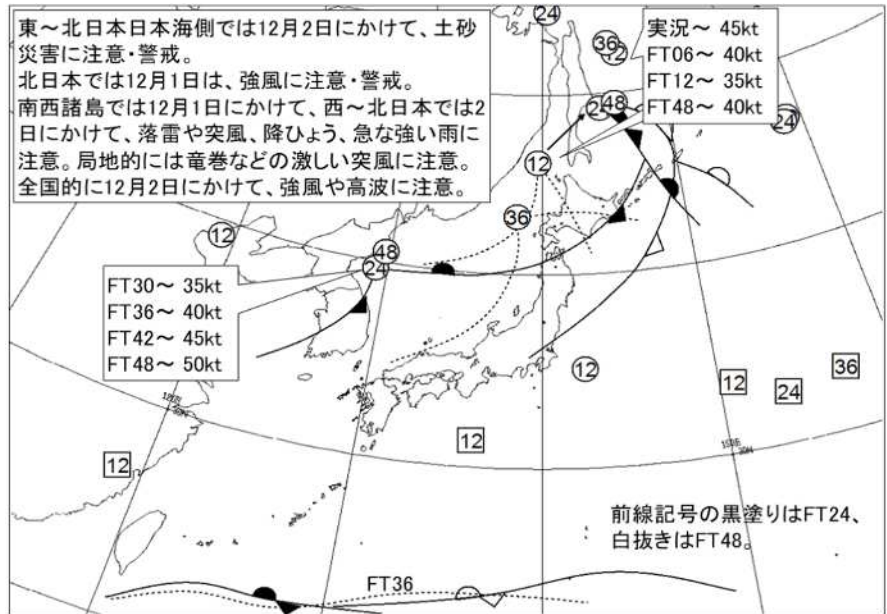


短期予報解説資料 2025年11月30日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5220～5400mの-30℃以下の寒気を伴うトラフが中国東北区にあって、東進。日本海では雷を検知。
- ② オホーツク海に低気圧があって、東南東進。低気圧と本州付近の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、北日本ではやや強い風が吹き、波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のトラフに対応し、30日朝までに前線を伴う低気圧が日本海で発生、発達しながら30日夜にはオホーツク海へ進む。また、後続の500hPa 5400m付近の-30℃以下の寒気を伴うトラフに対応し、30日夜までにボツ海付近で低気圧が発生、12月1日は前線を伴って発達しながら日本海を北東進する。さらに、1日夜までに日本海で低気圧が発生し、2日夜はオホーツク海へ進む。これらの前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った強い雨の降る所がある。西～北日本では2日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。これまでの降水で地盤の緩んでいる所があるため、東～北日本の日本海側では2日にかけて、土砂災害に注意・警戒。
- ② 500hPa 5820m付近の強風軸とトラフに対応して、30日夜までに沖縄の南～日本の南で前線が顕在化。トラフの東進に対応して、12月1日は前線が小笠原近海へのび、2日朝までに前線上の小笠原近海で低気圧が発生する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。小笠原諸島では1～2日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。南西諸島では1日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ③ 1項②及び2項①～②の前線や低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くなる所がある。北日本では12月1日は、強風に注意・警戒。全国的に2日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕 ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。

③ 波浪(明日まで)：北海道・東北・北陸3m。

④ 高潮(明日まで)：東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。